

# 「新葛飾病院とイムス東京葛飾総合病院 今後についての説明会」

## いただいたご意見・ご質問(要旨)

平成28年10月12日、堀切地区センター3階ホールにおいて「新葛飾病院とイムス東京葛飾総合病院 今後についての説明会」を開催しました。

当日いただいたご意見・ご質問と回答の要旨は以下のとおりです。

No.	ご意見・ご質問(要旨)	回答
1	現在の新葛飾ロイヤルクリニックやイムス葛飾ハートセンターの医師は異動してしまうのか。特に、新葛飾ロイヤルクリニックの医師が離れたら今までの絆が解けてしまうため、週1回は必ず残ってほしい。 (同様のご意見 他1件あり)	イムス葛飾ハートセンターの医師は、ほとんど残りません。 現在の新葛飾ロイヤルクリニックの医師は、週1回は、新葛飾ロイヤルクリニックでの外来を継続する方向で調整中です。 なお、イムス東京葛飾総合病院は、新葛飾病院及び新葛飾ロイヤルクリニックの医師の一部と新しく採用予定の医師が勤務することで進めております。(明芳会)
2	新葛飾病院の医師は異動するのか。 (同様のご意見 他1件あり)	病院の機能が変わるため、新葛飾病院で現在急性期を担当している医師は、イムス東京葛飾総合病院に移ります。(明芳会)
3	イムス東京葛飾総合病院及び新葛飾ロイヤルクリニック、東部地域病院とは、どのような関係なのか。	イムス東京葛飾総合病院と新葛飾ロイヤルクリニックは、いずれも外来を行います。新葛飾ロイヤルクリニックの外来で入院が必要になった場合には、イムス東京葛飾総合病院に入院していただきます。 東部地域病院は、明芳会とは別の運営法人となるため、一医療機関としての関係であり、新葛飾ロイヤルクリニックの外来を受けた患者が東部地域病院を希望する場合や、患者にとって東部地域病院の方が良い医療を提供できる場合には紹介しております。(明芳会)
4	クリニックとリハビリテーションは一体になるべきと思うがどうか。	ひとつの病院で外来、救急、リハビリテーション、療養を行うことで良い面もありますが、地域の状況などから現在は機能を分けています。 国は、病院の病床機能を「救急車を受け入れ手術する」、「在宅復帰へ向けて入院し、リハビリテーションを行う」、「長く入院される方は療養型」と機能分化する方向で進めており、新葛飾病院はリハビリテーションを行う病院として存続いたします。(明芳会)
5	堀切・小菅地域は足立区と隣接している。足立区には医療機関があるため、堀切・小菅地域の方は足立区の医療機関に行っているのではないのか。	区が平成24年度に実施した医療環境調査では、堀切・小菅地域単位での受診動向までは調べておりませんが、区民全体では区内の医療機関の利用のほか、足立区、江戸川区、都心などに行っていることが分かっています。(葛飾区)
6	新葛飾病院の病床の一部が新小岩のイムス東京葛飾総合病院に移る説明は、今回が初めてである。すでに建設工事も始まり印象が良くない。今後は説明をきちんとしてほしい。	説明が遅くなったことを、お詫びいたします。平成25年からの3年間で病床数確保の状況を見極めつつ、明芳会による経営の検討を行っていたため、時間を要しました。(葛飾区、明芳会)

No.	ご意見・ご質問(要旨)	回答
7	東部地域病院では紹介状がないと診察してもらえないが、イムス東京葛飾総合病院ではどうか。	イムス東京葛飾総合病院は、新葛飾病院同様、紹介状がなくても外来の受診及び入院が可能です。(明芳会)
8	新葛飾病院の建物はかなり古いですが、今後改修の際、耐震補強を行うのか。	今回行う改修は、一般病棟から回復期リハビリテーション機能病棟への機能転換のための内装改修(車いす用トイレ増設等)です。新葛飾病院の建物は、古い部分と平成以降の新しい部分があり、耐震の診断を含め、大規模改修は今後の課題です。(明芳会)
9	今後、新葛飾病院では1泊程度のカテーテル手術についても、手術ができなくなり、イムス東京葛飾総合病院で受けることになるのか。	新葛飾病院では手術室がなくなるため、イムス東京葛飾総合病院で手術を受けていただくこととなります。(明芳会)
10	以前、新葛飾ロイヤルクリニックに整形外科のリハビリテーションがあったが、突然なくなった。以前と同じようなリハビリテーション施設をつくる予定はあるのか。それはいつ頃になるのか。(同様のご意見 他1件あり)	現在も新葛飾ロイヤルクリニックにはリハビリテーション室があります。新葛飾ロイヤルクリニックの外来は今までどおり継続することに加えて、新葛飾病院が回復期リハビリテーション病院に変わりますので、リハビリテーション機能としては、さらに充実した運営をしてまいります。(明芳会)
11	イムス葛飾ハートセンターの外来は、変わらないのか。	イムス葛飾ハートセンターの外来は、今までどおりです。(明芳会)
12	患者が医療機関を選択する時に迷ってしまう。区内の医療機関は、どこが責任を持ってコントロールしているのか。	病院(20床以上の病床を持つ医療機関)は、東京都が開設許可を行っていますが、診療科目などは個々の病院の選択です。なお、医療環境として、がん、救急、小児救急、周産期医療などは、東京都が体制の整備を行っております。(葛飾区)
13	病気になった時に、どの医療機関に行けばよいか総合的にコントロールする総合診療案内の設置について、どのように考えているのか。	民間の医療機関の経営は厳しい状況であるなか、患者から選択していただける病院となるよう、良い医師の採用や患者に対する接遇の向上など、日々努力しております。どの医療機関に行けばよいか分からない時、適切な医療を紹介、提供できるよう、これからも地域の皆様から信頼される病院として貢献してまいります。(明芳会)
14	資料に、イムス東京葛飾総合病院の地図が掲載されていない。旧松上小学校跡地に開設するということだが、広い道路に面しているのか。	今回の説明会は、堀切地域を主体としたため、イムス東京葛飾総合病院の地図は掲載しませんでした。地図を掲載した新病院のパンフレットを新葛飾病院及び新葛飾ロイヤルクリニックにて用意しています。イムス東京葛飾総合病院前は、片側1車線の道路であり幹線道路ではございません。新病院の場所は、旧松上小学校跡地(西新小岩4-18-1)です。(明芳会)

No.	ご意見・ご質問(要旨)	回答
15	新葛飾病院が回復期リハビリテーション病院になった場合、大人数が入院する病室は残るのか。	国の基準に基づき、個室から最大4人部屋までを予定しています。(明芳会)
16	高齢者の終末期医療は、どこか診療所になるのか。	患者の病状や状況により、在宅医療(施設を含む)、診療所、病院の選択肢があります。イムスグループでも状況によって適切な医療を提供いたします。(明芳会)
17	シャトルバスは毎日運行するのか。何時頃まで運行するのか。	シャトルバスの運行予定は以下の通りとなります。 曜日：月曜日～土曜日 運休日：日曜日、祝日 時間：7時頃～19時頃、30分から60分に1本運行 定員：10人(明芳会)
18	新葛飾病院が、回復期リハビリテーション病院として残ってくれてありがたい。(同様のご意見 他4件あり)	新葛飾病院は回復期リハビリテーション病院として存続し、新葛飾ロイヤルクリニックは継続します。今後、新葛飾病院の機能は変わりますが、イムス葛飾ハートセンターや新小岩の新病院と連携し、堀切地域を含め区内の医療機能の充実を図ってまいります。(明芳会)
19	自宅近くに病院(新葛飾病院)があったありがたさを感じる。説明を聞いて不安になった。2年くらいで先生も全部変わってしまうと思い、悲しい気持ちである。	新葛飾病院は回復期リハビリテーション病院として存続し、新葛飾ロイヤルクリニックは継続します。今後も、堀切地域の皆様が安心いただけるよう、現在の新葛飾ロイヤルクリニックの医師が週1回は、新葛飾ロイヤルクリニックでの外来を継続する方向で調整中であり、新小岩の新病院の医師とも連携してまいります。(明芳会)
20	新葛飾病院は手術ができない病院となり、希望がない。	手術は新小岩の新病院での対応となりますが、新葛飾病院はこれからの超高齢社会で需要が増すと予想される回復期リハビリテーション病院として存続しますので、在宅復帰へ向けてより充実した機能を提供するよう努めてまいります。(明芳会)
21	葛飾区として病床数が東京都平均や足立区、荒川区よりも少ないとの説明があったが、もっと地域に住んでいる方々の年齢構成を考慮していただきたい。	葛飾区では、国や東京都に対し地域の実情を考慮した病床配分制度を導入するよう、強く要望しているところです。今後とも引き続き、国や東京都に要望してまいります。(葛飾区)

No.	ご意見・ご質問(要旨)	回答
22	<p>高年齢化している堀切にどのような医療行政を考えているのか。堀切に病院や医院が少ないと思うがどのように考えているのか。シャトルバスがあっても新小岩まで行くことは負担である。(同様のご意見 他1件あり)</p>	<p>葛飾区は、堀切地域を含めて今後65歳以上の人口割合が増加していく状況です。また、葛飾区の人口10万人当たりの病床数が、東京都平均や足立区、荒川区よりも少ない状況です。</p> <p>今回、今後の医療ニーズの増加に対応する取り組みの一つとして、新小岩に病院を誘致しました。</p> <p>高齢社会に求められる医療としては、急性期に加え、回復期に対応した機能や、医療療養機能、認知症対応なども重要です。</p> <p>また、病院だけでなく、診療所や地域の医療機関をはじめとする介護事業所との連携も強化する必要があります。</p> <p>このような状況を踏まえ、長年、堀切地域の医療を担ってきた明芳会に、医療機能を維持できないか協議した結果、新葛飾ロイヤルクリニックなどとともに、新葛飾病院は回復期リハビリテーション病院として存続することになりました。今後も、地域の医療機関や介護事業所との連携も含め、明芳会とともに堀切地域の皆様に安心して医療を提供できるよう努めてまいります。(葛飾区)</p>
23	<p>今まで新葛飾病院で休日・時間外診療を利用していたが、今後はどこに行けばよいのか。</p>	<p>明芳会にて新葛飾ロイヤルクリニックの診療時間の延長などの対応を行う予定です。加えて、広報かつしか、葛飾区ホームページ及びはなしょうぶコール(365日年中無休 午前8時～午後8時 電話 03-6758-2222)にて、休日応急診療所(立石・金町)及び休日当番医をご案内しております。</p> <p>休日や夜間に急病となった場合には、次のとおり24時間電話及びインターネットでお近くの医療機関を案内しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都保健医療情報センター「ひまわり」 お問い合わせ時間に診療を行っているお近くの医療機関を電話でご案内します。(24時間案内、平日9時から20時は相談員が対応) 電話 03-5272-0303</li> <li>・東京消防庁救急相談センター 医療機関の案内、応急手当に関するアドバイスをします。(24時間受付、相談員が対応) 携帯電話・PHS・プッシュ回線 #7119 ダイヤル回線 電話 03-3212-2323</li> </ul> <p>(葛飾区)</p>
24	<p>新小岩の新病院は、堀切地域から遠いため車を利用するが、駐車場はどうなっているのか。</p>	<p>約90台分の駐車場を予定しております。(明芳会)</p>
25	<p>新小岩の新病院は、堀切地域から遠い。新小岩駅から7分では行かない。バス便も不便である。</p>	<p>明芳会にて堀切の新葛飾ロイヤルクリニックから新小岩のイムス東京葛飾総合病院の間で、シャトルバスを運行します。(明芳会)</p>